

株式会社リニエR 通信

かみひこうき



令和6年12月1日、鹿屋市川西町に
『リニエ訪問看護ステーション大隅』を開設いたしました！



Linie



<https://linie-group.jp>

「おさかな」が「おちゃかな」になっちゃう



2歳を過ぎると、お話が上手になり、大人にとってお子さんとの言葉でのやり取りが嬉しくなってきます。その一方で気になるのが、「発音」です。3歳になったお子さんの発音についての相談も少なくありません。そこで、発音はいつ頃に相談した方が良いのか、考えていきましょう。

大切なのは、正しい発音を獲得する目安です。簡単に言うと、目で確認できる音、唇や舌などを当てて出す音（破裂音）は初めに獲得します。そして、どこにも当てずに隙間をあけて出す音（摩擦音）、舌をそらす音は難しく、最後に獲得していくといわれています。具体的には、最初は「パ」「バ」「マ」行、「タ」「カ」行など、後半に「サ」行「ラ」行が正しく出せるようになります。満5歳になるお子さんでも、「サ」が「タ」や「チャ」になることもあります。つまり、後半に獲得する音がうまく出せずに、前半に

獲得した音になることがあるのです。よって、3歳のお子さんが「おたかな」や「おちゃかな」と言っている、不思議ではありません。そして、5歳頃になっても上記の誤りがあった場合には、お子さんの発達の状況も踏まえた上で、練習の有無や時期について考えていくことになります。この時点で発音の誤りが気になるようでしたら、『言語聴覚士』にご相談ください。

注意点として、後半に獲得する音が前半の音に誤るのではなく、喉を詰まらせた音になったり、お口を少し横にずらして出す音など、特殊な誤りをする場合があります。この場合は、誤り音が改善していくのか、練習が必要なのか注意深く見守る必要があります。もし、このような音にお気づきになりましたら、『言語聴覚士』にご相談ください。

シューレへのお問合せはこちらから、リニエシューレ公式サイト→

<https://schule.linie-group.jp>



『ウェルビーイング』を実現するために④

精神科サービス推進室 扇 浩幸（作業療法士／公認心理師／相談支援専門員）

みなさま、こんにちは。扇です。2025年も1ヶ月経ち、時の早さを感じます。さて今回は、そんな過ぎていく毎日のウェルビーイングを高めるため、「いま、ここ」に集中する方法としてマインドフルネスをご紹介します。

マインドフルネスとは、「今、この瞬間」に意識を向けることを意味します。たとえば、自分の呼吸や体の感覚、周囲の音など、目の前の現実には注意を向けることで、心がリラックスし、過去や未来への過剰な思考から解放されます。これはストレスを軽減し、心の安定をもたらすだけでなく、自分自身の感情や思考のパターンを理解する助けにもなります。

ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的な健康が調和した状態を指しますが、この調和を保つために、日常生活の中で「マインドフルネス」を取り入れることが効果的だといわれています。では、「マインドフルネス」を日常生活の中で簡易的に実践できる方法をご紹介します。

簡易的 呼吸法トレーニング

所要時間：1～2分

1

自身の呼吸に注意を集中します。1度ずつ、あるいは2度ずつ息を吸ったり吐いたりする度に、腹部を空気が通過し、ふくらんだり引っ込んだりするのを感じます。

2

呼吸に注意を集中している瞬間瞬間に、湧いてくる思いや感じに気をつけます。そういう思いや感じ、あるいはそういう思いや感じを受け止めている自分に対して評価は下さずに、ただ観察します。

3

また、物事に対する見方や自分に対する感じ方に何らかの変化が生じた場合も見落とさないようにします。

ウェルビーイングを実現するためには、心と体の健康を意識的に整えることが重要です。その中で、マインドフルネスはシンプルながら強力な手段として、多くの人々に役立っています。忙しい日々の中でも、少しの時間を割いて実践を始めてみませんか。





西原先生からのお役立ち情報

中目黒診療所(内科・循環器内科) 院長 西原 崇創

私の専門は心臓疾患で、特に不整脈を扱ってまいりましたが、若い頃には感染症の専門研修を受けたこともあり、幅広い領域で皆さんの健康をサポートしてまいります。これまで、都市部の病院での先端医療だけではなく、へき地(徳之島)での診療も行ってきました。へき地では中央の病院で当たり前に行われていることができないことが多く、赴任当初は戸惑いましたが、本当に必要な検査や治療は何かを改めて考え直す機会となりました。また、前職では在宅診療にも携わり、中央からへき地、入院、外来、在宅と考えられうるすべての医療シーンを経験してきました。



今話題の“あのウイルス”について解説します

インフルエンザが猛威を振るう中、中国で流行し、一部報道で話題になっている感染症があります。“ヒトメタニューモウイルス”はRSウイルスなどと並び、感冒様症状の原因となるウイルスで、決して珍しいものではありません。このウイルスは2001年に発見されました。いわゆる感冒様症状(呼吸器感染症)を引き起こすウイルスはインフルエンザ、パラインフルエンザ、コロナ、アデノ、ライノ、RSなどがありますが、ウイルス遺伝子(一本鎖RNA)はRSに最も似ており、臨床症状もかなり近いとされています。

主に小児の感染症として有名で終生免疫が得られないため繰り返し感染する可能性があります。ほとんどの場合、上気道(感冒)症状のみで1週間程度で軽快しますが、小児の一部や免疫不全者、高齢者、何らかの基礎疾患を有する場合、下気道症状(喘息様気管支炎・肺炎)を合併することがあるとされています。

このあたりはインフルエンザや新型コロナなどと同様です。成人の呼吸器感染症の数%程度はこのウイルスが原因とされています。

感染経路	: 飛沫(咳、くしゃみ)、接触感染
潜伏期	: 3~6日間程度
ウイルス増殖期間	: 感染後数日から始まり、1週間程度がピーク、最大2週間程度持続
流行期	: 冬から春にかけて
予防法	: マスク着用や手洗い、換気など、コロナウイルスと同様
症状	: 発熱、咳嗽、鼻汁、呼吸困難感などの感冒様症状
診断	: 流行性感冒の原因ウイルスであり、積極的診断は一般に必要なし
抗原検査	: チェックhMPV (Meiji Seikaファルマ)を本邦では使用可能で、PCRと比較し、感度は約80%程度
治療	: 抗ウイルス薬ではなく、対症療法のみ
ワクチン	: 有効なワクチンなし

現在、中国で流行しており、世界各国がその動向を注視しています。新型コロナ感染症の際と同様、成人での重症化率がどの程度か?が最も注目すべきポイントになります。現在、我が国ではインフルエンザが流行していますが、今後インフルエンザとコロナ、そしてヒトメタニューモの同時流行が懸念されます。いずれ

にしても、コロナ禍で得た『周りへのちょっとした気遣い』が大切のように思います。当院ではコロナでの経験をもとに医療機関そのものが感染症の温床にならないよう、感冒様症状、胃腸炎症状の方と一般の方との診療を分けて拝見しています。引き続き診療へのご協力をよろしくお願いいたします。

参考文献

<https://www.cdc.gov/human-metapneumovirus/about/>
<https://www.ecdc.europa.eu/en/news-events/increase-respiratory-infections-china>
[https://www.who.int/news-room/questions-and-answers/item/human-metapneumovirus-\(hmpv\)-infection](https://www.who.int/news-room/questions-and-answers/item/human-metapneumovirus-(hmpv)-infection)

一度、循環器専門医の診察を受けてみませんか?





リエ訪問看護ステーション大隅

所長 安達 亮介

令和6年12月1日、鹿屋市川西町に『リエ訪問看護ステーション大隅』を開設いたしました。鹿児島県内では「リエ訪問看護ステーションあいら」「リエ訪問看護ステーションあいらサテライト霧島」「リエ訪問看護ステーション鹿児島」に続く4か所目の開設となります。

『リエ訪問看護ステーション大隅』は、看護師と療法士が協働し地域の皆様と連携・協力しながら、ご利用者一人ひとりに最適なサービスを行い在宅生活を支援していく事が使命です。そして、誰もが「自分らしい人生を歩むことができる地域」をつくるためにこれまでの価値観に囚われずあらゆる世代の多様なニーズに応えられるサービスを創

り上げたいと思っています。現在は、小児〜高齢の方までたくさんのご利用者でご縁があり関わらせていただいております。今後も寄り添い共に考え、より良いサービスが行えるよう邁進していきますので、よろしくお願いいたします。

リエ訪問看護ステーション大隅

〒893-0032 鹿児島県鹿屋市川西町3703-15

電話: 0994-36-5015

FAX: 0994-36-5016

サービス提供エリア

鹿屋市、その他大隅エリア



リエプラッツ二子玉川

所長 八重樫 貴之

このたび令和7年1月1日より、児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援事業所「リエプラッツ二子玉川」を開設いたしました。当施設は、世田谷区上野毛にて長年小児科・発達外来を運営されている「みくりキッズくりにつく」様の2階にございます。「リエプラッツ二子玉川」は、世田谷区内では「リエ訪問看護ステーションキッズ世田谷」に続き、リエグループとして2ヶ所目の施設となります。就学前から就学後のお子様を対象とした通いの場として、地域やご家族の皆様と連携しながら、経験豊富な専門職スタッフによる「専門的な療育」を提供してまいります。これからも皆さまに信頼される施設を目指して、

スタッフ一同一層の努力を重ねてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



リエプラッツ二子玉川

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-22-14
コルティールタマガワB棟 2F

